

# やまとそん 議会だより

一般質問（5人）	P 2 ~ 7
臨時会・定例会・要望活動	P 8 ~ 9
主な出来事・表紙写真	P 10 ~ 11
議会の動き・編集後記	P 12

第85号

令和5年2月発行  
議会：議会広報委員会  
発行：大和村議会  
電話 0997-57-2216（直通）  
FAX 0997-57-2967

2023年アマミノクロウサギ年

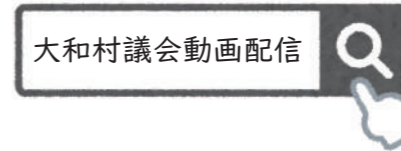
## 5 議員からの一般質問

# 村政を問う!!

12月定例会では、5名の議員が村政全般にわたる施策の状況や方針などについて、村当局に問い質(ただ)しました。質問と答弁を要約した内容は、3ページから7ページです。

### ユーチューブ 動画サイト「YouTube」で議会を配信しています

※ 大和村ホームページからもYouTubeサイトにアクセスできます



QRコード

### YouTube タイトル : 令和4年第4回大和村議会定例会一般質問※

※ 12/9 ① 0:29 ~ 22:48

前田 清和 議員

- 1 令和5年度予算編成の基本方針について
- 2 集落所有地の所有権移転登記について

※ 12/9 ② 48:07 ~ 1:48:36

藏 正 議員

- 1 大和村で金を使わせる構想は
- 2 堆肥を輸送コスト支援品目に
- 3 子育て支援のさらなる充実を図ろう

※ 12/9 ① 22:50 ~ 1:12:37

市田 実孝 議員

- 1 村内の観光や文化を発信する印象に残るようなモニメントの検討はできないか
- 2 農作地の防犯カメラの設置補助はできないか
- 3 誰もができるウォーキングを推進し、村民の健康増進を検討できないか

※ 12/9 ③ 00:07 ~ 48:30

重信 安男 議員

- 1 大和村民間マンション誘致事業について
- 2 漁業振興について

※ 12/9 ② 00:12 ~ 48:06

勝山 浩平 議員

- 1 建設業法の違法性について
- 2 ペット連れ避難所の開設を
- 3 妊娠時から出産までの支援充実を



前田 清和 議員

令和5年度  
予算編成の基本方針

**問** 令和5年度において、村長として思う基本方針は

**答** 行財政改革、農林水産業の振興と体験型観光農園の充実による村の活性化、また、民間企業との連携による村の活性化対策、観光施設整備による観光振興の充実のほか、子育て支援と高齢者対策の充実による安心して暮らせる村づくり、道路交通網、生活環境の整備、防災に強い村づくりの7つの項目

を基本にして、予算編成に臨んでいきたいと考えている。

**問** 重点課題として取り上げるのは

**答** 高齢化率43%を超える高齢者福祉への対応、防災対策及び農林水産業、観光振興の充実、原油価格・物価高騰への対応、新型コロナウイルス感染症対策など取り組むべきと考える。

**問** 令和5年度地方交付税の見解は

**答** (総務課長) 国内の情勢において変動があるものですが、現在は不透明ではありますが、様々な交付金であったり、有力な起債制度、交付税措置が取られるよいく起債制度を利用しながら、最小で最大の効果を生むような財源の取り組みを進めていきたい。

集落所有土地の  
所有権移転登記を

**問** 村内各集落公民館は、集落は法人組織でないため、集落名義での登記はされていないと考えられる。集落名義での登記が不可能であれば、今後、大和村に移転登記が出ないのか。

**答** 村埋め立て地に建設された大和浜、大榎集落を除く集落においては、土地の名義は建設当時の集落有識者を含む個人名での登記であります。そこで、村といたしましては、名義変更を集落において実施してもらうことを前提に、名義人は大和村として、権利自体は集落である旨の覚書等を交わすことで対応したいと考えています。



旧大榎公民館



市田 実孝 議員

村内をモニュメントでPR

問 村内を訪れる家族連れや観光客に、大和村の文化や象徴的アピールを目的にしたモニュメントを村内の公園や建物等公共施設に於いて検討していけないか

答 モニュメントは、スマートフォン保有者の74%がSNSを利用して情報発信されており、情報拡散効果が期待出来ることから、今後整備の有無を含め、整備場所やモチーフ・テーマなど検討を図っていききたい。



奄美市名瀬港大橋のモニュメント  
太鼓(チヂン)と踊りで奄美の伝統芸能を伝える

大和村にもこんなモニュメントが必要かも!?

農作地に防犯カメラの設置補助を

問 有害鳥獣駆除としてアマミノクロウサギ対策や猪被害防止策として現在防護柵を設置していただいているが、収穫時期に畑に行くことと盗難被害にあったというのを農家からたびたび聞くが、鳥獣被

村民の健康促進を

害に比べて人的被害は農家の生産意欲を低下させてしまうので防犯カメラ設置の補助もすべきでないか

答 行政としては購入に対する補助は考えず、盗難防止の広報や看板、施錠、巡回パトロール等により盗難防止を図っていききたい。

答 健康に最適な運動との認識から、若者世代を含めた健康増進施策に取り組んでウォーキング推奨をしていく。

問 万歩計を利用して目標達成者にポイントを授与し、大和村独自の村民の健康促進を図れないか

答 現在実施している元気度アップポイント事業の対象項目にウォーキングも加えるよう検討しており、一部実証実験を行っている。



1月22日まほろば大和ウォーキング大会  
老若男女元気に歩いている



勝山 浩平 議員

建設業法の順守を

問 村民から営業所所在地に建物が無く、営業所の実態が確認できない建設業者があるのではとの疑問の声があるが、所在地に営業所の建物が無い建設業者がいるのか

答 登録されている9業者の調査を行った結果、1業者の所在が確認できなかった。  
改善措置の指導を行った。

建設業許可権者である県に、営業所の所在地不明が確認されたことを報告したところ、事実関係を調査する必要があるのでこのためで県の判断を待ちたい。

ペット連れ避難所の開設を求めて

現時点では村の入札は参加できないと考える。その期間については県の確認により判断したい。告発するかということは県の判断を待ち対応していききたい。

問 本村でも、これまでペットが理由で避難所に行けなかった住民やペットと車中泊をした住民がいます。ペット連れを理由にした避難控えや車中泊による健康被害を防ごうと、国も避難所での受け入れを推奨しているが本村もペット同行可の避難所の開設を進めるべきではないか

答 ペットの登録数は今年11月現在210匹で43世帯である。ペット同行避難を推進することとは必要な措置であるとされている。

妊娠時から出産までの支援充実を求めて

問 飼育主による飼育管理の必要性と避難所における同行避難への理解を含む共通のルールづくりが必要である。まずは各自自主防災組織でペット同行避難における共通の理解を得るための協議を進めさせ、飼い主への同行避難におけるルールを記載したガイドラインを作成し、ペットを登録されている方へ周知したい。

ペット同行避難について公共施設を管理する部署と連携し対応を図れないか協議を進めたい。

問 妊娠期から子育て家庭に寄り添い、産後育児期も途切れることなく子育て家庭を支えていくために一時預かりや訪問家事育児支援など支援事業の充実を図るべきではないか

答 イターナー者をはじめとする子育て世帯等においては、周囲の支援を得にくい状況もあり、現在の相談件数は年に1件程度あるが、子供の発達や保育・家事支援等の相談があり、関係機関とも連携を図りながら御近所サポート事業、訪問看護、助産師や保健師による訪問等において、その都度対応している。

一時預かりについては2歳未満児への対応として、保育所の場を活用しての一時預かり体制について検討している。

今後子育て支援についての相談件数は増加、多様化していくと考えられるので、柔軟できめ細かいサポート体制ができるよう努めていく。





藏 正 議員

加工品開発の進捗状況は

問 ふるさと納税の返礼品はどうやって増やすのか

答 他自治体との共通返礼品と、PRグッズ返礼品（地元の観光名所やキャラクター等をデザインすることで返礼品として取り扱うことができ）の2とおりで検討している。開発途上の12品目の商品化についてもパッケージデザイン作成、テスト販売、マーケティング等、商品完成に向け取り組む。

問 加工品の開発から産業化を図れないか

答 加工品づくりを産業として活性化させるには、団体、人員ともに不足し、現状維持が精いっぱい状況である。新たな事業者の掘り起こしや、後継者を育成し事業者を増やし情報の共有及び意見交換並びに鹿児島県イノベーションサポートセンターとの連携など事業者共同による商品開発の創設が必要と考えている。

問 「まほろば館」の黒字化に向けてもスモモやタンカン以外に牛肉など、村外の原料を利用した商品開発は出来ないか

答（産業振興課長）「まほろば館」の売り上げは昨年度の380万円に対し11月時点で490万円と大きく伸びておりすぐには言わないが黒字化は可能だと考えている。（村長）ふるさと納税返礼

答 30年後に本村に無償で引き渡していただき企業側は30年間で家賃収入として回収。また、オーナー制とは別でユーミーマンションとは違うので、若干金額が変わる。空室補償については、企業側にもみってもらうのではなく、グレイ美術さんに支払い頂くか本村で支払うか検討中である。

家賃設定がもっと安くなれば良かったのに〜！



重信 安男 議員

問 大和浜に建設中の大和村民間マンション家賃助成・空室補償について大和村の自主財源にて補うと聞いているが現在、奄美市・龍郷町といった立地条件の良いところで6万8千円〜7万5千円と本村に比べると1〜2万円安いのですが、当初の金額設定の時に相場を調べて交渉はしなかったのか



品については苦慮している現状にあるので、原点に返って検討していきたい。牛肉についても村内での販売（ひらとみ）等から始めていきたい。

堆肥の値段、6割が運賃

問 堆肥を奄振事業の輸送コスト支援品目に位置付けて県本土の農家と同じ条件で購入できるように取り組んでも出来ないか

答 各市町村長と共に、県に働きかける。

保育体制を再整備し保育士を確保しよう

問 園長、主任、担任といった責任者の配置が曖昧で指揮命令系統や課題の把握に不安が残るが、統括責任者の配置が必要ではないか

答 責任者の在り方を洗い直

漁業がもっと活性化してほしい〜!!!

問 行政と奄美漁協が連携して本村の漁業活性化に繋げてほしい。また、燃油高騰の中、本格的に漁業されている方への燃料助成はできないか

答 本村としては大和支所と奄美漁協との連携強化が必要と思う。補助的支援（燃料助成増大）についても、対応させて頂ければと考えている。

し、現場での困りごとに対する対応が取れる体制づくりを検討する。

問 公募に対して応募が無い状況にあるが、賃金等の処遇の改善や将来展望ができるようなキャリアプランの構築が必要ではないか

答（保健福祉課長）賃金については他市町村と比較しても低いことはない。福利厚生についても改善され今後も改善に向け取り組む。キャリアプランについてもずっと保育士というわけではない。

問 一人当たりの保育面積は規定以上のゆとりがあるのか

答（保健福祉課長）まほろば保育園は保育室を含めて15名定員で、面積的には19名まで収容できるところであるが余裕を見て15名にしている。



# 第41回大島本島南部町村議会議員大会

令和5年2月6日 南部議員大会が3年ぶりに宇検村生涯学習センター「元気の出る館」で開催されました。三反園代議士、保岡代議士、そして、禧久県議、寿県議、向井県議、また大島支庁長、瀬戸内事務



主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久戸内間トンネルの早期実現を期する 大和村



所長など多くのご出席があり、国・県そして地域を取り巻く環境と活性化に向けて考えていく機会になりました。また、研修会には「一般質問と議案質疑・討論についての一考察」と題し鹿児島県町村議会議長会事務局の三原誠様からの講演がありました。

大島本島南部議会とは、瀬戸内町、宇検村、大和村の3町村から構成され、大島本島南部の振興発展のために活動しています。本大会では、各町村の要望及び今回初となる



南部3町村に共通する要望を提出し、県議会議員に答弁を求めました。

大和村の要望「大金久戸内間トンネルの早期実現について」に対し、寿はじめ県議より次のような回答をいただきました。

(寿県議) 現道に急勾配、急カーブの区間はあるものの、2車線で改良済みであること、また、トンネル整備は大規模な事業となり多額の事業費を要するため、厳しい財政状況を

考慮すると早期の事業化は困難。県としては、奄美大島本島内で「おがみ山バイパス」等事業中箇所が多くある中、進捗状況を確認しながら次のトンネル整備が円滑に進むよう、次期整備区間について必要性等を総合的に勘案し検討していきたい。

また、南部3町村共通の要望として「曾津高崎線 宇検村屋敷から瀬戸内町西古見間の道路拡幅整備について」を提出しました。曾津高崎線は未だ未舗装や狭小部があり、一般車両の通行を制限していますが、整備することで、大島本島一周が可能となり、特に観光面では大和村を通る西周リルートへの利用に期待が高まるところです。

## 令和4年第2回臨時会

第2回定例会は11月11日に行われました。

主な内容は、令和4年度大和村一般会計補正予算(第3号)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る費用として、歳入歳出それぞれ3,889万1千円の増額予算を計上。原案可決しました。

### 注目の事業

令和4年度子育て世帯臨時特別支援事業(電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金)

非課税世帯へ5万円の給付金が支給されました。



### 地域商品券の発行

新型コロナウイルス感染症の対策の一環として、原油価

格・物価高騰の影響から水光熱費または、燃料代への支給に変わり、生活費等への応援のため、併せて、村内事業者への支援として、全世帯に地域商品券が発行されます。

### 大和村物価高騰等対策事業者支援金交付事業

村内で商工業を営む法人又は個人事業者に対し、法人には10万円、個人事業主には5万円が交付されます。

## 令和4年第4回定例会

第4回定例会は12月6日から12月9日までの日程で開かれ、令和4年度一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、条例の新規制定及び一部改正などが上程されました。

主な内容は次のとおりです。

令和4年度大和村一般会計補正予算(第4号)1億7,016万8千円増額、予算総

額33億4,533万円のほか7つの特別会計の補正予算を原案可決しました。

また、大和村職員の定年等に関する条例等を改正し、令和5年度退職者から10年間の期間をかけて60歳から65歳に定年引上げが図られることになりました。また、定年等条例及びそれに関連する改正条例の制定が10件、大和村福祉事務所設置条例の制定、大和村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を変更し従事者の資格基準や利用者の定員数が緩和されるなど、条例に係る議案17件を原案可決しました。

### 注目の事業

一般会計補正予算  
ドローン講習手数料



ドローンの大きさに関係なく、ドローンを操縦するのに国家資格が必要になりました。

た。それに伴い、職員が講習等を受講するための手数料が計上されました。現在、役場では主に工事現場、災害調査、村のPR等でドローンを使用しています。議会からは村内の観光事業者と連携をとり、村内の観光PRに役立ててほしいと提言しました。

### 大和村福祉事務所設置条例の制定

令和5年4月から大和村福祉事務所が設置されます。主な業務は「生活保護」「ひとり親家庭支援」などです。これにより、村民への福祉のさらなる充実が図られます。これまでは県の管轄だった業務が、村内で直接行えるので、各種制度の利用や相談がもっと身近なりに、親身に対応できるようになります。福祉事務所は役場保健福祉課内に設置される予定です。



## 表紙写真と住民の声



今年は卯（ウサギ）年。表紙写真は、アマミノクロウサギがまるで指先をそろえて丁寧にご挨拶をしているかのような様子です（撮影：大町博之さん）。昨年からアマミノクロウサギシンポジウム開催や、今後は研究飼育施設の建設が予定されていたりと、村内でもウサギに関連する話題が多くあります。アマミノクロウサギを身近に感じる年になってほしいと願います。

さて、今年の年男でもあり、現在 JA あまみ大和村果樹振興会会長などでご活躍の藤村秀久さんにお話を伺いました。

### 大和村果樹振興会会長に聞いてみた！

#### 今年のタンカンの実り具合は？

一昨年同様の量があるのでOK！大和市のタンカンPRイベントに向けて収穫量は確保できそう。奄美フォレストポリスに一次選果場が出来たので朝戸の奄美大島果樹選果場と連携して、量・質の確保を行いたい。

指導農業者  
果樹振興会会長  
祝年男  
2L銀賞

### 大和村果樹振興会会長に聞いてみた！

#### 大和村の農業がどんな年になってほしいですか

私は10年、20年先のことを考えている。今の季節のタンカンも、5月が旬のスモモも大和村にはなくてはならない作物なんです。現役の農家さんで畑を拡大している人もいますので今後の生産量も上がっていくだろうと思います。でもやっぱり一番の希望は、若者の担い手が来てくれることかな。大和村の農業全体も活気づくし、雰囲気も良くなると思う。そういった希望を込めて、基幹産業「果樹の村大和村」の未来を守るために、今現在の質と量を確保していきたい、いかにくちやいけない！自分たちが良いものを作り続け、収入が上がるのを示せば、若者がここで農業をしたいと思ってくれると信じています！！

藤村 秀久さん（大和）



識見監査員  
元野 吉八郎 委員



議選監査員  
宮田 到 委員

## 定例監査・表彰

11月14日から16日の日程で定例監査を実施しました。4月から9月末までの各課の業務の進捗状況や予算の執行が適正に行われているか、提出資料や職員の説明を聴取して行われました。概ね適正とし、報告書の公表を行いました。

11月17日に大和郡の監査総会が与論町で行われ、大和村識見監査員を務める元野吉八郎氏、大和村議選監査員を務める宮田到氏が大和郡町村監査委員協議会より5年以上在職した者に贈られる功労表彰を授与されました。

1月4日大和村防災センターで「二十歳の集い」が行われました。平成14・15年生まれ、大和村内の小中学校に通っていた方まで14名が参加。議長挨拶として「どこに住み、どのような仕事に就かれても、いつも心の中に“ふるさと大和村”を思い、決して小さく固まることなく、自分の可能性を信じ、目標に向かって邁進してください。」と言葉を送りました。

## 二十歳の集い



出見楓、直崎広生、森岡敬司、牧岡礼羅、森聖也、山下竜輝、田畑錬哉、中島心優、勝えりい、重信優香、藏野々夏、村山涼乃、重田優衣、屋井優羽  
成人者のみ（敬称略）

1月8日大和小中学校校庭にて消防出初式が3年ぶりに開催されました。議長挨拶として「団員の皆様方が共に力を合わせ、災害に強い郷土づくりのために、消防業務に精励されますように。」と言葉を送りました。

## 消防出初式



## 所管事務調査



10月25日に和歌山県北山村と那智勝浦町に行き、取り組みなど聞き取りを行いました。人口が少ないながらも特産品でふるさと納税を集めている村、25年前から移住者受け入れに取り組んでいる集落、といった、大和村が持つ課題を乗り越えた地域の人のお話から、大和村の未来について考える機会になりました。



【12月】

- 6日～9日 第4回大和村議会定例会
- 16日 福岡防衛局表敬訪問（正副議長）

【1月】

- 4日 二十歳の集い（議長）
- 6日 大島本島南部3町村議員連絡会役員会
- 11日 正副議長会（鹿児島市）
- 12日 議員研修会（鹿児島市）
- 22日 世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム  
（宇検村：議長）

第5回奄美群島かんきつ振興大会大和村大会

（副議長）

【2月】

- 23日 奄美群島振興開発総合調査意見交換会（奄美市）
- 6日 第41回大島本島南部町村議会議員大会（宇検村）
- 16日 県町村監査委員協議会定期総会・研修会  
（鹿児島市）
- 17日 県離島振興町村議会議長会定期総会・  
県町村議会議長会定期総会（鹿児島市：副議長）
- 19日 大和村公民館講座合同閉講式（議長）
- 21日 市町村長・議会合同会（奄美市：議長）

「やまとそん議会だより」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

村議会の役割は、村の事務や事業が、正しく行われているか、適正に管理されているか、あるいは新しい事務事業の提案など、村政全般について村長に質問を行い、村の目付的な役割も果たしています。

このような取り組みを村民の皆様に分かりやすくお伝えし、少しでも大和村の村政に関心をもつていただけるよう、魅力ある紙面作りに取り組んでまいりますので、今後とも「やまとそん議会だより」を引き続き、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

前田 清和

編集委員会

- |     |       |
|-----|-------|
| 委員長 | 藏 正   |
| 委員  | 重信 安男 |
| 〃   | 前田 清和 |
| 〃   | 市田 実孝 |

みなさんのご意見をお聞かせください



年4回発行される議会だよりについては、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。また、議会に対するご意見やご要望がございましたらお聞かせください。

【お問い合わせ先】 議会事務局 電話：0997-57-2216（直通）  
FAX：0997-57-2967 メール：gikai@vill.yamato.lg.jp